

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

# up

'95

12

月号【1日発行】

心も体も国も危ない日本人とニッポン？  
この“不安”から何を学ぶ！



いまを話す

心の絆弱い親子関係を憂う民話家、萩坂昇さん  
社会が子供から夢奪った！

Stage Up 12 月号もくじ/1995年

◇かわさき市民アカデミー来年四月生募集予告—— 3

心も体も国も危ない日本人とニッポン？

この不安から何を学ぶ！

■ほんねインタビュー いまを話す—— 4

心の絆弱い親子関係憂う

民話家の萩坂昇さん

◆はりきってます グループ紹介—— 8

古民家保存にぬくもり与える

—— 炬ばたの会(多摩区)

明るく楽しくをモットーの

—— シャンソン・ド・綿の実(幸区)

●学習・文化情報/会員募集—— 10

◆配布場所—— 14

○ミニニュース/編集後記—— 15

かわさきニューイヤークンサート

◎表紙絵……………天宙華—— 田中 保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

川崎市とどろきアリーナオープン記念

好評発売中

'95川崎カップ国際体操競技大会

——世界のトップがかわさきに集結——

12月19日(火) 午後5時開始(開場 午後4時)

参加国 ロシア・ウクライナ・ルーマニア・アメリカ・中国・韓国・日本他  
 入場料 S席 4,000円 一般 2,000円 高校生 1,000円 小中学生 500円  
 発売所 川崎市とどろきアリーナ・(財)日本体操協会・川崎市内有名運動具店  
 チケットぴあ・チケットセゾン

主 催 (財)日本体操協会・川崎市 ほか  
 問い合わせ/川崎市とどろきアリーナ事業課 ☎(798) 5000

'95かわさき市民 5,000人第九コンサート

12月10日(日) 午後3時30分開演(開場 午後2時45分)

指 揮 堀 俊輔 管弦楽 '95かわさき市民第九交響楽団  
 独 唱 佐竹 由美(ソプラノ) 向野由美子(アルト)  
 鈴木与志一(テノール) 箕輪 健(バリトン)

入場料 1,000円(全席自由)  
 発売所 (財)川崎市生涯学習振興事業団・市内各市民館・京浜楽器・イトウ楽器店  
 川上楽器・北野書店・チケットセゾン・チケットぴあ  
 問い合わせ/川崎市教委文化課 ☎(200) 3305

来年4月“入学、かわさき市民アカデミー

## この不安から何を学ぶ！

生き残れるか日本、21世紀に…  
いま、体も国も危ない？

激動の1995年が終わろうとしています。阪神大震災と日本列島を覆うマグマの恐怖、オウム真理教事件、金融不安、円高不況の長期化と雇用不安・就職難、フランス・中国の核実験、いじめの陰湿化、児童・生徒の体力弱体、沖縄における米兵の女児暴行事件など不安な1年で、明るい話題は「野茂・イチロー現象」ぐらい。数年前「21世紀に日本は生き残れるか」の不安が顕著になると、だれが予測したのでしょうか。だから、いま「暮らしの中からの学問」生活者の目を大切にする政治・経済・文化」が求められています。

◆「かわさき市民アカデミー」って何だ 2年前に開校した「かわさき市民アカデミー」は、市民のための専門的な生涯学習の場です。専攻コースを少数制で2年間、継続して学び掘り下げて学習・研究できるだけでなく、なによりも会員（学生）の疑問や意見を大切にします。「演習」がそれです。

◆マスプロ教育とは大違いの「市民アカデミー」「市民アカデミー」の値打ちは「生活者の目を大切にする学習」「地域に根差した会員相互の心のふれあい、出会い」にあります。講師、各会員が「学びあい、高めあう」間柄です。講師、演習コーディネーターは会員の疑問に真剣に対応します。

◆「不安な時代」に市民アカデミーへ入会を 堺屋太一さんの「大変な時代」がベストセラーになりましたが、不安感を切り開くのは経済人や政治家なのでしょうか。「主権在民」とは、国の主人公は国民、市民ということです。市民が手を携えて、この「不安な時代」を乗り越えるしかありません。その契機として、市民アカデミーの来年4月入会の会員になられてはいかがでしょうか。募集は来年2月です。詳しくは小誌新春号に掲載する予定です。

◆入会資格・修学期間・費用は？ ①18歳以上の人ならだれでも入会できます（試験はありません）②修学期間は2年間ですが、その後3年間は会員資格があります③費用は、入会金2万円、受講料は1学期分（半年）で約2万円です（選択する講座数によって異なります）。

◆どんなコースが始まるの？ 次の9コースです（専攻の曜日、おもな講座名／講師名の順）。  
〔研究系〕人間学コース（月曜、<sup>からだ</sup>身体文化論／養老孟司・前東京大学教授）■政治・国際関係コース（月曜、官房長官の一年／五十嵐広三・前内閣官房長官）■経済と地域コース（金曜、冷戦後の世界経済・日本経済／竹内啓・東京大学名誉教授）。

〔表現系〕文学コース（木曜、作品講読～漱石、チェーホフ、エンデetc ～を中心に／村田経利・学習院大学教授他）■芸術（美術）コース（水曜、抽象絵画の成立／西田秀穂・東北大学名誉教授）■映像とことばコース（火曜、テレビをどう観るか／天野祐吉・批評家）。

〔生活系〕高齢者福祉コース（金曜、生活福祉とは何か／一番ヶ瀬康子・東洋大学教授）■居住福祉コース（金曜、居住福祉を考える／小川信子・日本女子大学教授）■“みどり、学コース（金曜、園芸の楽しみ・造園学の基礎／園芸相談員他）。

◆会員の募集はいつから？ 申し込みは1996年2月16日（金）～3月4日（月）です■定員は各コース20人（定員を超えた場合は抽選）です。

◆問い合わせ先 ☎044（422）3932の「かわさき市民アカデミー事務局」  
〒211 中原区新丸子東3の473の2、中小企業・婦人会館内。

## いまを話す

ゲスト

心の絆弱い親子関係憂う  
民話家の萩坂昇さん

Vol.40



# 社会が子供から夢奪った 「心のごちそう与えたい」

「むかし、むかし、はるかむかし……」。ゆっくりと、懐かしい響きで語られるむかし話や伝説。それは、その当時の地域の人々の願いや夢であり地域文化。「夢」をまとめて四十数年、中原区在住の民話研究者・萩坂昇さんは「遊びを通して仲間意識を育む『子供の時代』を知らない子供が増えた」と憂う。モノが豊かになるのと反比例して、若い父母や子供から夢や想像力が奪われ民話離れが顕著になった、といえないだろうか。「むかし話は心のごちそう。親が子と向き合い話をしてあげることが大事」と萩坂さんは話す。自然への畏敬、先人の知恵やユーモアが詰まった民話を復権させ「子供に夢を持たせたい」。インタビューは「語り」の伊藤真弓さん。

萩坂さんの民話は、段落が短く単純で分かりやすいですね。改めて民話は日本人の情緒、心の原点だと感じました。

萩坂さん 民話には、人相とか景色とか細かい描写がなく、粗削りの文章だけど、かえって子供が夢を描けるんです。昔の人たちが鳥や木、お地蔵様にたとえて、自分たちの夢や願いを語っているんですね。今にも通じる話です。

方言を大事にしていますが、若い人には分からないのでは……。萩坂さん 分からないのは方言

だけじゃないですよ。花咲か爺さんの「灰」や炭、囲炉裏だって知らないでしょ。いちいち説明していたら、話しどころではない。でも、全体として分かれればいい。

——伝えたいたいのには、素材の細かいことではないと。

萩坂さん そう。同じ民話だって結論が「親孝行しなきゃなんねえぞ」とか「しつかり働けや」と違うものがいっぱいある。気にすることは無いと思います。標準語にない方言の力強さに子供が関心を持ち聞いてくれるんです。

子供たちには、よくお話しするんですか。

萩坂さん ええ、だけど今の子供は、聞くだけというのは難しい。テレビの影響で「おじさん、CMないの」なんて言うね（苦笑い）。

——私も子供たちにお話をしますが、面白い話も入れないと、飽きてしまうことがあります。

萩坂さん 今の子供たちのことは、すごく心配です。本を読まないことがショックだね。ずいぶん前に、どうしたら民話を読んでもらえるかと考え、はがきに民話を印刷して送ったんです。（はがきを取り出し）これは佐渡に行ったと

# 枯れ木に花咲かないが……

## 民話は庶民の願い、動植物の心

き聞いた民話ですが、短いお話なら読むと思つてね。昭和四十九年はがきが十円のころだね。

——どんな人に送つたのですか。  
萩坂さん はじめは友だちに。それから、僕の講座を聞きにきてくれた人とかに……。

——反応はいかがでしたか。  
萩坂さん すごかつたねえ。NHKや新聞で報道され、二千通以上の手紙が来てね。一番嬉しかつ



人形劇で川崎のむかし話を上演した母親グループと記念写真に収まる萩坂さん

たのは、青函トンネルを掘つてる出稼ぎの人が「家で待つている子供に送つて」とね（楽しそうに）。

——いいですね。

萩坂さん 入院中の子供には何枚も送りました。その子が「おじさる来て」つていうんで、病院で子供たちを集めて話をしました。

今でも講演の時、そのはがきを持つて聞きに来るお年寄りがいます。

——どのくらい続けたのですか。

萩坂さん 一年ちよつとかな。はがきが二十円になつちやつてね。最後に「多摩丘陵を一緒に歩きましょう」と書いたら、関東近県から七十人もきて、民話を語りながら歩きましたよ。

——そこまで民話にこだわるのはなぜですか。  
萩坂さん 僕は、子供の時からすこく本を読んでいるんです。兄（演劇評論家・萩坂桃彦さん）が「小公子」「アンデルセン」「イソップ物語」などの古本を買つてき

きてくれて、その影響が大きいね。——とくに民話にひかれたのは萩坂さん 子供が好きだったからかなあ。昭和三十年ころ、俗悪本が流行つたので「赤い鳥」の後継誌を作つたんです。そのとき、よく書いたのが民話なんです。

——それが最初の民話？  
萩坂さん その前に郷土史をやつていて、川崎の歴史やお地蔵様について調べていました。ところ



が、昭和二十七年に千葉県の富里村に行った時、小学四年の池田千鶴子さんの詩に出会つたんです。「じぞうさまや、そのころのくらしは、どうだったや。ねんぐは、おさめられたかや」。お地蔵様に話し掛けていたわけよ。僕の地蔵調べは、いつ、どこに出来ただけ全然話してないわけ。その時「僕はお地蔵様とお話しなきゃいけない」と思つたの。

### 萩坂 昇 さん

はぎさか・のぼる=1924年東京に生まれ、川崎で育つ。53年に雑誌「日本のこども」を創刊し編集長を務め、民話や郷土史を手掛け始める。著書にサンケイ児童出版文化賞受賞「君たちが生きる社会」や小学館絵本賞受賞「かつばどつくり」、「日本昔ばなし」、「神奈川の民話と伝説」、「デゴイチ物語」。今年、舞踊劇「新加瀬山伝説」を書き下ろし市内で上演。現在、「多摩川を愛する会」会長、「川崎文化会議」、「日本民話の会」各会員。中原区に妻と二人で住む。

——なるほど（うなずいて）。

萩坂さん それから、川崎の野の仏を見付けては、近くのおばあちゃんにいろいろ聞いて「これは水掛け地蔵といつて、昔、熱病が出た時に願掛けたら、地蔵様熱かつた。それで水掛けてやつて、家に帰つたら、子供の熱が下がつていた」。こういう話を聞き、郷土史より民話だと思つたね。「木や山、川、鳥ともお話しなきゃ」という気持ちになつたんです。

——民話は木や鳥の代弁者？  
萩坂さん うーん。山形県にいくと、お話する前にこういいます。

# TVに子守の子育てはダメ 添い寝し眠らせ話を

萩坂さんの新作「新加瀬山伝説」が今年市内で上演された



「とんと昔あったごんだか、ねえごんだったか、とんと分かり申さねども、とんと昔はねかったことも、あったにして聞かねばなんねえ」。分かる？(にっこりして)。

——なんとなく(笑いながら)。

萩坂さん 昔のことは、あったこととして聞け。枯れ木に花が咲

きっこないし、お地藏様が歩くわけないでしょ。でも、昔の人は枯れ木に花が咲いてほしかった。

——そうですね。民話って庶民の願いですね。

萩坂さん 再話といって、むかし話を聞いて何を願っていたのか、僕なりに解釈するんです。群馬県

で「かき地藏」を話した時、あるおばあさんが「かき地藏夫婦には子供がいたと思います」と言ったので、僕の「かき地藏」は「亡くなった子にそっくりじゃ」の一言が入っているんです。

——昔は、祖父母から父母、子孫へと語り継がれていきました。今はそれがなくなっています……。

萩坂さん 本が大きな力でしたが、今は読まれない。むかし話が消えていくのは、聞き手がいないってことです。テレビのほうが手っ取り早い。今のお母さんは「子育て」の大合唱をしているけど、テレビに子守をさせているでしょ。

——萩坂さんの子供のころは？

萩坂さん 僕の両親は能登半島で仕事に失敗して、東京に出てきたんです。夜になると、おばあちゃんに「まんとこれん(かわいい孫)こっち来い」って呼ばれて、湿っぽい布団にもぐり込んで、よく話を聞きました。「昔なあ、ある天気のエエ日に、空からながーいながーい、……、ふんどしがおっこつてきた」で、終わり。

——えつ、眠くなっちゃう。

萩坂さん そう、寝ちゃうやね。翌日、「今夜は怖い話だ。昔なあ、

東の山にいた大蛇だいじやが、西の山さ向かって寝ろ、……」。

——ずーっと繰り返すんですね。萩坂さん そう。おばあちゃんだつて寝ながら話している。僕は、くそばあと思つたよ(笑い)。

ふんどしとか、寝ろ寝ろでしょ。でも、これは立派な民話なんです。きりなし話とか、果てなし話、眠らせ話っていうんです。おばあちゃんだつて、一日働いて疲れているけど、孫を寝かし付ける。それが子育てだと思ふのね。

——心が温まりますね。言葉のスキンスツプですね。

萩坂さん そうだね。今はお金さえあれば何でも買える。でも、そのために何が失われたかが問われていると思うんです。

——民話の中で、それを問いかけていらつしやる。

萩坂さん うーん。僕は「心のごちそう」という言葉をよく使っています。心のふれあいには、お金では買えないのです。子供が欲しがらるモノは、お金を出して与えられますが……。親が子と向き合っています。話が大事です。話がうまい下手ではなくて、非行やいじめが後を絶たないのはなぜ？。「モノよ

# モノで心は満たされぬ

## 多摩川愛し再発見へ

「心が大切」に気付いてほしい。

——民話、眠らせ話の原点に親と子の心のふれあいがあると。

萩坂さん ええ。現代っ子は一年中おいしいものを食べて、毎日がお祭りみたい。でも、満足感



どうか。その子たちが大人になって、子供のころを思い出したとき、何が残っているのかなあ。

——子供たちは、自然とのふれあいがない、体力も落ちていく、それがいいですね。

萩坂さん 子供の時代なき子供がつくられているんです。子供が外出する時、親が「腕時計をして」という。子供の時計は手錠のよう

に感じるね。昔の子供は、時間を忘れて遊び親に怒られた。今の子供は時間を気にして遊ぶ。「そこがおかしい」と気付く親を作らなきゃ。まず親が変わらなきゃ。

——子育てより親づくり。子供が遊ぶ大切さ、子供の時代とは。

萩坂さん 遊びの中から、仲間意識が育つのでしょ。そして自然の中でたっぷりと冒険を楽しむ。それが子供の時代を味わうことだと思ふんだ。優しさを持つガキ大将が消えた子供の世界なんて。僕は子供に夢を持たせたい。

——川崎の民話をたくさん書かれていますか。

萩坂さん 戦後の川崎というと公害のまち。でも、川崎にもいい話がいっぱいあると思ひ、執拗に調べました。今、地方に行つたときは、まず川崎のお話を聞いて、それから、その地方のお話を聞きます。ギブ&テイクです。それで、心の結び付きができますね。

——戦後五十年、川崎の地域性が失われている中で、民話を浸透させていくのは難しいのでは。

萩坂さん 難しいです。でも、「人間は、少女時代をたっぷり味わうために生まれてくる」と水木しげるさんと丸岡秀子さんが言っています。

——新見南吉が「子供の言葉、子供の歌を、だんだん忘れていってみんな忘れてしまつたら、大人なのだ」といつてる。長い目で育てていくことが大切だと思います。

——「多摩川を愛する会」の活動も十一年目になるそうですね。

萩坂さん はい。日本野鳥の会名誉会長だった今は亡き西悟堂さんの言葉に感動して始めました。「ツバメがいない、ヒバリが姿を消した。それに、多くの人が気付こうとしない。都市化が土と水を殺した。舗装で、農業で、化学肥料で、人間は自分の首を絞めている」



伊藤眞弓さん

### 伊藤 眞弓 さん

いとう・まゆみ=米国 Grand View College 卒。声優、北川智繪主宰「話芸写」の「語り」で上演音楽を担当。英語通訳・翻訳、ナレーター、難民支援のチャリティー語りも。川崎に住んで25年。自宅は中原区新丸子。

ることに気が付いていない。道路のために原始林を犠牲にし、神社の森まで駐車場にしてしまつとは」

——「多摩川」の価値の再発見ができればと思っています。

——今後の民話についての抱負をお聞かせ下さい。

萩坂さん むかし話は、昔の人が当時の「今」を語つたのだと思ふんですよ。何十年か経つと昭和、平成のむかし話として語り継がれていく。「今」の話があるはずですよ。宮前区のお化け灯籠の話もそのひとつで、言い伝えを発掘して書いていけたらと思っています。

——川崎のむかし話を豊かにして、夢を与えて下さい。

——題字は高橋清・川崎市長

構成／野々川千恵子

文責／田中 園

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。



# 多様な生活学び 来園者との交流

## 多様な生活学び 来園者との交流

炬ばたの会 (多摩区)

二十畳ほどの薄暗い農家の土間。は多摩区生田の日本民家園のボラのかまごでトロトロと火がゆれる。ンティア「炬ばたの会」今村英その前で六、七人の女性が灰をか 男(67)代表ら六十四人の会員。いたり、薪を足したり。女性たち 見学者が訪れると、かつぼう着

姿の会員たちは、すつと立ち上がり、床上に招き入れる。この竹の床の居間で家族がだらんし、畳の部屋でお客様を迎えました」「囲炉裏を囲む座席にも家長、長男、女と決まりがありました」と、よごみなく案内する。

イギリスから観光旅行中の女性二人が「なぜ火を燃やしているの」と質問。会員は「屋根や壁、床に虫が付かないようにするためです」と身ぶりを交え答える。目を丸くして指でOサインを作る若い女性。心が通う「民家外交」である。

民家園入り口を通り過ぎて少し行くと、ひなびた村里に迷いこむ。曲がりくねった山道のそこかしこに、茅葺きの民家が建つ。懐かしさにかかられて、さらに奥へと歩を速めると、木々に囲まれた谷あいの一軒から青紫の煙が立ちのぼる。その家は三百年近い歴史を刻む。

この日訪問した「炬ばたの会」の女性会員は、この家に溶け込み、野良仕事から帰る男たちを待つ農家の主婦の趣も。燃える炎が頬を染め、どの顔もつややかに明るい。

同会は平成五年、川崎市民アカデミープレ講座「民家ハレとケのフォルム」の受講者が、同園の

要請により「民家園祭り」で囲炉裏に火を入れたのがきっかけ。見学者から「当時の農家の生活を思い起こさせる」との評判に気を良くして、その後、新たに講座を開き、新受講者と共に発足した。

それまでは、同民家は清掃の時間、一時間ほど火を入れるのがやっと。家々の灰は湿り、ホコリやカビのにおいがしていた。しかし今は、会員の努力で土間も床もきれいに磨かれている。毎月の研修会では昔の環境や暮らしの勉強をする。

笠井政孝さん(66)は、「一家の火種を守り暗い流し場で仕事をした女の苦労や、魔よけの魚から漁村との交流がわかる。古民家は、私たちの暮らしの原点で、生きた教材」と興味が尽きないようす。関山秀子さん(60)は、「山の四季を楽しみながら、お客様に喜んでもらえて最高」と興奮気味。

今村代表は「外国で博物館を支えるボランティアに感銘。勉強を重ね、素晴らしい施設をもっと皆さんに紹介したい」と夢を話す。

同代表宅は、高津区三子五五七。(022)52020。

文 / 小誌・熊野史子  
カメラ / 小誌・山本綾子



ワイド版

はりきってます グループ紹介

弦ノ楽コソホ中シムーの

——シャンソン・ド・綿の実(幸区)

車の交通が激しい国道1号線沿いの夜の歩道。ノリのいい合唱が聞こえてくる。幸区南幸町の県立勤労女性会館で、月曜の夜(毎月一回)の「シャンソン・ド・綿の実」——吉田朋子代表(60)ら二十四人の歌声。働く女性が多く、好きな曲をおなかの底から声を出して歌い、仕事のストレスを解消して、生活をエンジョイしている。

この日は、同館文化祭の出演に向け「バラ色の人生」「インシヤラー」のシャンソンやポップス十二曲を熱を入れて練習した。文化祭に出演すると、反響があり新会員も加入して、大きな励みになる。発声でノドと体をほぐした後、全員そろって音符の下に記されている歌詞を声に出して読む。詞の語感を大切にするとためという。ソプラノ、アルトに分かれて曲の練習に入る。会員の目が輝き体が自然に揺れ、遠くを眺めるように歌う。足でテンポをとり譜面を

腹の底から声だし  
ストレスを発散



目で見つめる。指導は川崎少年少女合唱団常任指揮者のすみや洋子さん。「口の開け方がとてもいいですね。メロディーの音が高いところがあ

りますが、みなさんの実力なら楽に出ますよ」と緊張をほぐす。すみや先生が、ピアノにすべるような速い音階を入れる。会員たちの目が大きく開き、顔が紅潮して迫力あるシャンソンを歌い上げた。ポップスの複雑なリズムにも遅れずに歌う。

同会のモットーは「明るく楽しく。聴く人を楽しませる秘訣は、テワーク的なことはあまり気にせず、それぞれが自信を持って声を出し、体全体で曲と歌詞を生かして歌うからだろう。

練習の回を重ねると、歌だけでなく服装のセンスもよくなり「若返ったみたい」と言われることも「歌うことは生きいきと過らせるエネルギー源」を実感させられた。

同会発足は十八年前。同会館婦人大学修了生が集まり結成。昨年初の演奏会を開き、暗譜で歌った経験が自信につながっている。

宮下千恵子さん(56)は「声を出すすとストレスの解消になり、生活に潤いが出ます」とにっこり。

専業主婦の浅見昌子さん(54)は「皆で歌い、話し合うと生活の励みになります。家族も協力してくれそうです」と楽しそう。

永越君子さん(44)は「速いテンポの曲が好き。ペギー葉山のラノヴィアには思い出も」と笑顔。

吉田代表は「楽しく歌い、いい気分になって帰れるグループです。気軽に足を運んで下さい」と話す。

同代表宅は、多摩区寺尾台一の七の一〇。☎(955)6707。

文／小誌・山本綾子  
カメラ／小誌・熊野史子

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

# スポーツ

①親子で楽しむスポーツ

①親子で楽しむスポーツ  
 ツチャンバラ②バドルテニス入門◆麻生スポーツセンター  
 ①1月21日～3月24日の日曜13時から。親子20組。参加費1組4千円②1月18日～3月28日の毎週木曜10時から。40人。参加費4千円。申し込みは1月11日(木)①18時半②10時に直接来館。☎(951)1234  
 ◆新百合ヶ丘駅下車  
 「スポーツ教室◆川崎市とどろきアリーナ」①はつらつ健康体操。1月23日～3月26日の火曜13時半から60歳以上②キッドビクス。1月23日～3月26日の火曜17時から。5、6歳児③初心者卓球。1月17日～3月27日の水曜13時半から。15歳以上④こども体力づくり。1月17日～3月27日の水曜16時から。小学生⑤親子体力づくり。1月18日～3月21日の木曜10時から。3、

4歳児とその親⑥はじめてのバドミントン。1月19日～3月22日の金曜10時から。15歳以上。受講料は①③⑥が4千円②④が千五百円⑤が3千円⑥は別に教材費2千円。申し込みは①③⑤⑥が来年1月10日(水)10時②④が16時に同所へ直接。定員は各30～40人(組)。(抽選)。☎(798)5000  
 ◆武蔵小杉駅下車。  
 「スポーツ教室◆幸スポ

「スポーツセンター」①卓球(初級)。1月18日～3月21日の木曜10時から②はじめてのテニス。1月20日～3月23日の土曜13時半から③バドミントン(初級)。1月23日～3月26日の火曜13時半から。15歳以上。各30人。受講料各4千円。教材費別。受け付けは①③が来年1月11日(木)10時②は同18時半に直接。☎(555)3011  
 ◆川崎駅からバス。

ら、鏡びらき。対象は寒げいこ参加者。無料。☎(544)0493  
 ◆川崎駅からバス。  
 「スポーツコーナー利用講習会◆県立川崎青少年会館」12月16日(土)18時半から。ウェイトトレーニングの基本と利用方法。16歳以上。無料(スポーツ保険料千三百円)。申し込みは☎(222)5282の同会館  
 ◆川崎駅下車。

5千円。会費4千～5千5百円。申し込み随時。詳しくは☎(888)3131の同所  
 ◆梶が谷駅からバス。  
 「①社交ダンス②女性硬式テニス◆川崎市民プラザ」①1月13日～3月16日の土曜10時から。初級者②1月8日～3月25日の月曜10時から。初級者▽13時から、中級者。受講料①②とも1万2千円。申し込みは往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・コースを記し①12月26日(火)②12月20日(水)必着で各教室係り定員は①が60人、他は30人(抽選)。☎(888)3131  
 ◆梶が谷駅からバス。

「武道練習と寒げいこ◆石川記念武道館」①なぎなた



た。火曜14～16時半▽土曜15～17時半②女性剣道。火曜10～12時半③剣道。火曜④柔道。火・木・土曜⑤空手道。土曜⑥合気道。火・土曜⑦少林寺拳法。木・土曜。③⑦は18～20時半。無料。▽来年1月5日(金)～7日(日)10～20時半、武道寒げいこ(7日は15時まで) 写真。定員は剣道百人、その他は各50人。申し込みは12月10日(日)10時に直接▽1月7日(日)12時からと15時か



「スポーツ教室◆川崎市民プラザ」①水泳(幼児・児童・成人)②体操(幼児・児童)③体力づくり(成人) 写真。入会金

## 講座・講演

「食生活講座①寒い冬の暖まる食事②ガンと食生活◆麻生老人福祉センター」①は来年1月10～24日の水曜②は来年2月7～21日の水曜。時間は9時半から。第1水曜は男、第2・3水

学習・文化情報

探していた講座がある

曜はどちらかを選ぶ。対象は60歳以上。材料費500円。管理栄養士の指導で調理実習。定員は第一水曜は18人、他は各20人。エプロン、筆記具、ふきん持参。申し込みは①12月1日(金)②来年1月4日(木)から。いずれも希望日の1週間前までに☎(966)1549の同センター。

「ビジネス英語研修◆市産業振興会館」来年2月13日～3月22日の火、金曜18時半から全12回。ネイティブ・スピーカーで実践会話訓練、当該国の文化や価値観、ビジネス上における習慣、発想を学ぶ。対象は英語について若干知識のある方。受講料5万円。定員約8人。簡単な面接あり。申し込みは各区役所、市民館、図書館にある申込書に記し来年1月19日(金)までに〒210幸区堀川町66の20市産業振興財団情報開発課☎(548)4119。

8回。講師は馬場章さん。受講料8千円、教材費3千円。定員15人(抽選)。申し込みは12月5日(火)必着で往復はがきに住所、氏名、電話番号、返信用にも住所、氏名を記し〒211中原区等々力1の2、同所「同講座」係☎(754)4500。

「草木染め入門◆県立高津青少年会館」12月3日(日)10時半から。型染めを楽しむ。対象は青年。材料費2千円。定員15人。弁当持参。申し込みは☎(844)2101の同館。

「煎茶道講座◆川崎市民プラザ」来年1月18日(木)10時半からと13時半から。費用500円。定員は各30人(抽選)。申し込みは来年1月10日(水)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、希望時間を記し〒213高津区新作1の19の1、同プラザ「同講座」係☎(888)3131。梶が谷駅下車。

く)の月曜13時半から全6回。対象は60歳以上の方。費用は千800円。定員30人(抽選)。申し込みは12月15日(金)～26日(火)に直接来館か、はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、生年月日、性別を記し〒215麻生区金程2の8の3、同センター☎(966)1549。

「スカーフで作るおしゃれなコサージュとアクセサリ◆登録ドレスメーカー学院」来年1月27日、2月3日の土曜13時半から。使わなくなったスカーフでコサージュ髪かざりを作る。受講料は1回千円。スカーフが薄地ブラウスを持参。申し込みは午前中に☎(911)2221の同学院。向ヶ丘遊園駅下車。

「紙人形入門教室◆サンライフ川崎」来年1月26日～3月29日の金曜13時半から全10回。講師は下野人形家元代理の高橋美佐子さん。受講料2060円、教材費2千円。定員先着30人。申し込みは12月15日(金)から☎(344)1777の

同所。八丁駅下車。

①ワークショップ教室②わくわく実験教室◆東芝科学館

①は12月7日(木)8日(金)。9時半から入門コース▽13時半から年賀はがきコース。一人一台のワープロで指導。教材費千円②は12月9日(土)10時と13時から「温度の科学」をテーマに実験を中心に解説。入

場無料。定員は各250人。いずれも申し込みは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。



催し

①楽しいカード作り②野鳥観察③子供のびのび広場◆県立川崎青少年会館

世紀編◆昭和音楽芸術学院

12月9日(土)「発明と発見の文化、哲学と思想」文学、音楽、演劇、造形芸術の流れ」▽16日(土)「楽器技術の発達と音楽表現」音楽作品にみる「終末」の表象。いずれも13時から。講師は村上陽一郎・国際基督教大教授、島田外志夫・昭和音

大教授ら。受講料は1回3千円。申し込みは☎(953)1230の同学院内・昭和音大生涯学習センター(主催)。新百合ヶ丘駅下車。

察。対象は中学生以上。定員15人。防寒具、手袋、雨具、弁当、筆記具、双眼鏡持参③は12月9、16日の土曜10時から卓球、遊び、囲碁、将棋。卓球はラケット、室内靴持参▽9日(土)14時からギター▽16日(土)10時から字をきれいに書く教室。対象は小学～高校生。定員は各10人。いずれも参加無料。申し込みは☎(222)5282の同館。

学習・文化情報

参加したい催しがある

民家園」来年1月14日(日)10時から。団子やケズリカケを作り民家の小正月を体験。受講料800円。定員先着20人。申し込みは12月12日(火)9時から☎(922)2181の同園。

「工房赤いふうせん」冬の展示即売会「染めと織り」◆新百合ヶ丘エルミロード5階広場」12月8日(金)11日(月)11時から。木綿、ウール、絹、麻、手染め糸で作ったストール、テーブルセンター、小物入れ他。新百合ヶ丘駅下車。

「工房赤いふうせん」は知的障害者の地域作業所。問い合わせは☎(935)2678の同作業所。

①市民天体観望会②天体写真撮影会◆市青少年科学館」①は来年1月13日(土)17時半から。土星を観望。雨、曇りはプラネタリウムで星の話②は来年1月28日(日)18時から。月齢8日の月を撮影。対象は小学5年以上。定員先着14人。フィルム、1眼レフカメラ持参。雨、曇りは中止。いずれも無料。小学生以下

は保護者同伴。申し込みは①参加自由②12月17日(日)9時から☎(922)4731の同館。

「ミニ観察会◆生田緑地」12月17日と来年1月14日の日曜13時20分、市青少年科学館に集合。地質を観察。筆記具持参。雨天決行。問い合わせは☎(922)4731の同館。

「囲碁・将棋大会◆麻生老人福祉センター」来年1月31日(水)9時半から。対象は60歳以上の方。費用は昼食代など800円。定員は先着で囲碁52人、将棋20人。申し込みは1月8日(月)120日(土)に費用を添え同センターへ直接。問い合わせは☎(966)1549の同センター。

①映画大会②ゲーム大会◆東芝科学館」①は12月26日(火)10時と13時半から「はだかの王様」ガイコツ軍団」を上映②は12月27日(水)10時半と15時半から輪投げ▽13時半からゴルフゲーム。無料。問い合わせは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

ステージ

「クリスマスバロックコンサート◆エポックなからは」12月10日(日)15時開演。出演は新谷要一・フルート▽小畑善昭・オーボエ▽菊地知也・チェロ▽新谷久子・チェンバロ。曲目はバツハ「フルートのためのバルティータ ハ短調」、クヴァンツ「オーボエ・ダモレ、フルート通奏低音のためのトリオソナタ ト長調」ほか。入場料は全席自由で前売り2千800円、当日3千円、学生2千円。問い合わせは☎(866)4506のタウンライブ(主催)。

①シユテフェン・シュライエルマツハー」20世紀のピアノ音楽②クリスマスファミリーコンサート◆市民ミュージアム」①は12月2日(土)15時から。現代音楽のピアノリストで作曲家のシュライエルマツハーの初来日公演。曲目はジョン・ケージ「夢」ピアノのための音楽20」ほか②は12月



16日(土)18時半から。クラシックからポピュラーをマリンバで演奏。出演はアンサンブル・マレット。定員3百人。入場料は①展覧会の観覧料のみ②一般千円小中学生500円。前売りは☎(754)4500の市民ミュージアム。

「ヘンデル「メサイア」◆麻生市民館ほか」12月10日(日)13時半開演。会場はサントリーホール▽14日(木)18時開演。会場は同館▽19日(火)18時半開演。会場は県立音楽堂。指揮は星出豊・昭和音大教授。出

演は同大学管弦楽部▽同合唱団▽昭和音楽芸術学院合唱団▽小泉有紀・ソプラノ▽当重茜・アルト▽的場辰朗・テノール▽松山いくお・バス他」写真。入場料は10日は全席指定2千円、他は全席自由千500円。前売りは☎03(5990)9990のチケット・セゾン。問い合わせは☎(953)1230の同芸術学院。

「Xマスジャズナイト」Nソリッドスクエア◆ソリッドスクエア内アトリウム」12月20日(水)18時と19時から。フルートを中心に親しみやすいジャズコンサート。出演はレモングラス。無料。会場は☎(549)6016。問い合わせは☎(222)8821の市文化財団(主催)。JR川崎駅西口から徒歩5分。

①クリスマスコンサート②初笑い寄席◆川崎市民プラザ」①は12月23日(土)18時から。出演はチチャモラーダ。定員150人②は来年1月13日(土)18時から。出演は桂米丸、牧伸二、玉川カルテット他。入場料

学習・文化情報

みたい絵画がある

は①飲み物、軽食付き4千円②前売り千7百円、当日2千円。前売りは☎(888)3131の同所。

①斎藤牧子ヴァイオリンリサイタル②中原葉子コンサート◆糎ホール」12月8日(金)19時から。曲目はパツハ「アンダンテとアレグロ」▽イザイ「バラード」他②は12月9日(土)18時開演。出演はピアノ・土岐雄一郎、ベース・前田正一。入場料は①ドリンク付きで前売り2千円、当日2千5百円②全席自由3千5百円。問い合わせは☎(812)6090の同ホール。溝ノ口駅下車。

ギャラリー

〔画廊ランブ屋〕12月6日(水)〜17日(日)「土瓶・急須・ゆのみ展」。12人の陶芸家による普段使うものから美術品まで3百点。火曜休。☎(945)441

6 稲田堤駅下車。〔中村正義の美術館〕12月10日(日)まで「山下菊二と正義」展。一般5百円、

学生3百円、小中生2百円。☎(953)4936 読売ランド前駅からバス。〔会館とどろき〕12月1日(金)〜5日(火)「石塚一雄趣味の和竿展」▽7日(木)〜20日(水)「教職員写真コンクール作品展」▽21日(木)〜1月8日(月)「会館とどろき講座子ども絵画・書道展」。☎(733)3333 武蔵小杉駅からバス。

〔ギャラリー華沙里〕12月5日(火)まで「佐野隆人個展」▽7日(木)〜24日(日)「トライアングル展」久保俊寛、国米基己、桜井利雅の油絵とアクリル画。水曜休。☎(954)2333 新百合ヶ丘駅下車。

〔ギャラリー幸〕12月8日(金)〜20日(水)「寿色紙展」。おもに川崎の漫画家が出展。木曜、22日〜年末休。☎(555)8181 川崎駅下車。

〔川崎市市民ミュージアム〕来年1月28日(日)まで「現代写真の動向 ANOTHER REALITY」近年活躍の日本人写真家10人の作品を通し21世紀の写真表現の可能性を展望▽12月3日(日)13時半から、伊藤俊治(美術評論家)平木収(写真評論家)同館学芸員によるシンポジウム「現代写真の展望」▽1月7日(日)まで「芸術の楽しみ」〜世紀末とアール・デコ時代の展覧会ポスターを中心に▽1月15日(月)まで「満洲・シベリア」

新正卓十江成常夫二人展」戦後50年、二人の写真家が改めて問う戦争と日本人の歴史。入館料一般7百円、学生3百円。☎(754)4500 武蔵小杉駅からバス。

〔アートガーデンかわさき〕12月6日(水)〜10日(日)「白蓉書道会書道展」大翔会美術連盟東京支部展」▽12月19日(火)〜24日(日)「荒木かも未個展」森閑」☎(222)8821 川崎駅下車、川崎駅前タワー・リパーク3階。

〔ミニ画廊喫茶琴〕12月1日(金)〜30日(土)「いぬい薫写真展」☎(544)0507 鹿島田駅下車。

〔フランス研究会〕麻生区片平4の7の20、谷口曜子代表「フランス人講師による初級講座です。気楽に気長に楽しみませんか。月3回、木曜日の19〜20時半、麻生市民館で。会費は2ヵ月8千円。連絡は☎(987)0619の代表宅。

会員募集



●幸優氣会(麻生区王禅寺2153の86、岩田みどり代表)護身術の合気道をあなたも始めませんか。毎週土曜16〜17時半、石川記念武道館で。入会金5百円、月会費千円(学生無料)。連絡は☎(555)0294の河田。

●苗の会(宮前区平4の21の9、神崎早苗代表)小唄、俗曲を楽しむ会です。3分程度の曲で、高齢者も楽しんでます。三味線、唄どちらでも始めてみませんか。月2回、代表者宅で。糸代5千円。連絡は☎(976)7705の代表者宅。

おわび 11月号2ページの「95かわさき市民5000人第九コンサート」の中の12月10日は(日)です。また、13ページ「ギャラリー」の「画廊ランブ屋」の中の「一松人形」は「市松人形」に、15ページ「ミニニュース」の「エルベンの演奏会」の中の「10月19日」は「9月19日」の誤りでした。おわびして訂正します。

事業団ガイドを刊行 「川崎市生涯学習振興事業団」つて、どういう仕事をしているの。何のために、いつ作られたの」といったみなさまの疑問にお答えする「事業団ガイド」が、このほど刊行された。

A4判17ページで表紙は日本国際美術家協会会員、上原一郎さんの絵「天使達の舞」がカラーで飾られている。また、写真(モノクロ)や図、漫画を50枚も使っている「目で見るガイドブック」の工夫も。カラーは表紙絵だけで、派手さには欠けるが、見やすさ、読みやすさと節約を考えた?(T)

小誌は市内200カ所  
 所で配布しています  
 お近くでお取り下さい

小誌は、川崎信用金庫の本  
 本店と市内の全支店・出張  
 所計40カ所、横浜銀行の市  
 内全支店18カ所、各区役所  
 ・支所・出張所、各市民館  
 ・分館、各図書館、各保健  
 所、各社会福祉協議会と次  
 の所で配布しています。

「川崎区」さいか屋川崎  
 店▽又マヤ川崎店▽住友銀  
 行川崎支店▽神奈川県労働  
 金庫川崎南支店・川崎支店  
 ▽JR川崎駅▽市立川崎病  
 院▽太田総合病院▽東京電  
 力川崎支社▽有隣堂川崎B  
 E店・アゼリア店▽当事業  
 団情報コーナー（教育文化  
 会館1階）▽県立川崎図書  
 館▽市立体育館▽青少年セ  
 ンター▽市役所市民相談室  
 ▽労働会館内労働資料室▽  
 ヨネッティ・堤根▽サンラ  
 イフ川崎▽浮島町公園▽川  
 崎マリエン▽川崎行政サ  
 ビスコーナー▽南部公園事  
 務所▽川崎愛泉ホーム▽か  
 わさき情報プラザ▽パン工  
 房「パバゲーノ」▽ライブ

ハウス「JAZZびあにし  
 も」

「幸区」石川記念武  
 道館▽幸スポーツセンター▽  
 産業振興会館▽県立勤労女  
 性会館

「中原区」神奈川県労働  
 金庫中原支店▽市立井田病  
 院▽市民ミュージアム▽エ  
 ポックなかはら▽中小企業  
 婦人会館▽総合自治会館▽  
 会館とどろき▽フードハウ  
 ス大野屋小杉店・住吉店・  
 中原店▽国際交流センター  
 ▽小杉行政サービスコーナ  
 ー▽公文書館▽中原郵便局  
 ▽中部公園事務所

「高津区」さくら銀行溝  
 口支店▽東京電力高津営業  
 所▽市民プラザ▽イトーヨ  
 ーカードー溝口店▽溝口郵  
 便局▽大山街道ふるさと館  
 ▽西部公園事務所

「宮前区」住友銀行宮崎  
 台支店▽聖マリアンナ医科  
 大病院▽青少年の家

「多摩区」JR登戸駅▽  
 東京電力生田営業所▽画廊  
 ランプ屋▽登戸ドレスメイ  
 カー学院▽日本民家園▽青  
 少年科学館▽青少年創作セ  
 ンター▽フルーツパーク▽

緑化センター▽北部公園事  
 務所▽フードハウス大野屋  
 長尾店

「麻生区」住友銀行新百  
 合ヶ丘支店▽さくら銀行柿  
 生支店▽神奈川県労働金庫  
 新百合ヶ丘支店▽つみ歯科  
 新百合ヶ丘▽ホワイト急便  
 金程店▽有隣堂新百合ヶ丘  
 店▽麻生スポーツセンター  
 ▽福祉パルあさお▽川崎新  
 都心情報センター▽ヨネッ  
 ティー王禅寺▽黒川青少年  
 野外活動センター▽ゆりス  
 トア百合本店・柿生店▽  
 東柿生郵便局

読者の皆様へお願い 小  
 誌は来年夏、通巻50号を迎  
 え、市民の方々に開か  
 れた生涯学習情報誌「をモ  
 ット」に編集をしてみました  
 が、これをさらに発展さ  
 せたいと念じています。

新企画の提案や「いまを  
 話す」のゲストの紹介など  
 とともに、ご意見、ご要望  
 を☎(952)5000、  
 FAX(952)1350  
 の編集チーム宛てお寄せ下  
 さい。その際、住所、氏名、  
 電話番号をお願いします。

高齢者と障害者が共生する

## 『ひかりの村建設』チャリティーコンサート

早瀬一洋 テノール・リサイタル ピアノ・中島慶子

賛助出演 ゆりがおか児童合唱団

指揮・山田榮子 ピアノ・西山淳子

12月15日(金) 午後6時30分開演 **エポックなかはら**  
 (JR南武線武蔵中原駅前)

- 曲 目 ベッリーニ・銀色の月▽ロッシーニ・踊りマトスティ・最後の歌▽クルティス・  
 忘れな草▽橋本國彦・お六娘▽コダーイ・クリスマスの羊飼いたちの踊り  
 ほか
- 入 場 料 3,000円(全席自由)
- 問 合 せ ☎(455)0538のひかりの家、☎(434)4771の早瀬
- 主 催 民間福祉作業所『ひかりの家』
- 後 援 川崎市、川崎市教委、川崎市生涯学習振興事業団、毎日新聞川崎支局

◆曲目は変更することがあります。収益金は、すべて「ひかりの村」建設資金に充てられます。

家族の絆をテーマに  
しんゆり映画祭開く

「しんゆり映画祭」が10月27日から3日間、新百合21ホールで開かれた。シナリオ作家の山田太一さんが「家族の絆」という視点から選んだ6作品で、今秋話題を呼んだ「午後の遺言状」(監督・新藤兼人、出演・杉村春子、観世栄夫、乙羽信子)も上映された。また、映画評論家の淀川長治さんや新藤兼人監督が映画にまつわる「秘話」を交え、家族像や家族の在り方について講演し、計千6百人の観客を感銘させた。ある中年の女性は「講演や解説で作品がとても身近に感じられました」と感激の面持ち。主催は川崎市、芸術のまちづくりイベント実行委で「今後、市民が中心となり世界へ発信できる映画祭をめざしたい」という(K)。

ミニニュース

編集後記

当事業団創立五周年記念式典が十一月十七日、新百合21ホールに関係者百二十人が参加して

開かれました▼当事業団のこれまでの足跡を「お互いに学びあい、高めあい、助けあう学習をお手伝いしてきた五年間」と評価していただければ幸いです▼中小学校の週休二日制に伴う「遊びの広場」や「青少年学校外活動」▼二年間、興味のあるジャンルの学習を系統的、専門的にする「かわさき市民アカデミー」▼どのような学習をどうすれば学べるかの「学習相談」▼国内外の優れた音楽や伝統芸術の公演▼端末機画面を使い、さまざまな学習情報を提供する情報システム「ステージ・ライン」▼芸術・文化・福祉・環境・高齢化・まちづくりなどを実践する市民や学識者をインタビュールし、問題点や活動人柄を伝える「ほんねインタビュー いまを話す」、市

民のサークル活動を生きいきと紹介する「はりきつてます グループ紹介」、美しい表紙絵に心なごむ生涯学習情報誌「月刊ステージ・アップ」▼市民の健康な暮らしに役立つ各スポーツ施設や青少年施設▼これらの企画、運営、管理などはすべて当事業団が行っています▼国の一部財団が「休眠」して税金の無駄遣いが表面化したことがあります▼当事業団はますます多忙です▼さて、先日、複数の熱心な読者から小誌へ要望がありました▼「学習・文化情報の内容を詳しく、ビジュアルに『いまを話す』のページ数増を」「希望する高齢者に無料郵送して」「市民アカデミーの講座要旨の掲載を」など▼「貴重なご意見。新年度に実現させます」と約束出来ればカッコイイ▼でも、現実には三年連続マイナス予算が確定で、月刊誌を続けることさえ難しいのです▼「質の低下につながる隔月刊にしない」ため知恵を絞っています。

第7回 かわさきニューイヤーコンサート

□かわさき新人音楽会□

'96年1月14日(日) PM 2:00 開場 PM 2:30 開演

麻生文化センター大ホール (小田急線新百合ヶ丘駅下車)

入場料 1,000円 (全席自由)

- 出演 公開オーディション合格者  
渡辺 美奈・中山 美知・笠井 祐子・釣 由美・木下 順子(以上ピアノ)  
南條 由起(ヴァイオリン) 芹ヶ野 恵(フルート) 白岩 真紀(トロンボーン)  
古谷 享子(サクソフォーン) 山下 真理(マリンバ)  
本居 麻波・永井 雅子・鈴木 結子(以上ソプラノ独唱)
- チケット発売 (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎952-5000  
当事業団情報コーナー ☎233-6250・各市民館
- 問い合わせ 当事業団小杉分室(文化イベント事務局) ☎422-3932

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団/川崎市教育委員会

好評前売り中

# 貯めるコツ、あります。

あなたのプランに、ピッタリの預金はどれですか？



期間が選べる手軽な定期預金。

**スーパー定期/スーパー定期300**

1年たてばお引き出しもOK。

**ワイド定期** 期日指定定期

自由に使えて有利にふやせる。

**貯蓄預金10/30**

半年ごとに新しい金利を適用。

**変動金利定期預金**

給料天引きで有利に計画貯蓄。

**財形貯蓄** 虹の預金

やっぱり、  
ボーナスは  
ろうきんだね。



★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111

## '95少年の祭典

モーリス・ラヴェル作曲

# ポレロ

1000人の市民による大合奏・大合唱

12月17日(日)午後4時開演

市教育文化会館

入場無料

(JR川崎駅下車、バスあり)

- 曲 目——ラヴェル「ハバネラ」▼スペイン伝承曲「セビリヤーナ」  
南安雄「歌はともだち」▼松井孝夫「マイ・バラード」 ほか
- 出 演——指揮・安部順子 スペイン舞踏・花岡陽子スパニッシュダンスカンパニー ほか
- 主 催——ポレロを楽しむ会実行委員会(☎933-8107 同事務局)
- 共 催／川崎市教委など ●後 援／川崎市、川崎市生涯学習振興事業団など
- 制 作／芸術村あすなる

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団  
電話044(952)5000代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合2ビル  
FAX 044(952)1350  
編集人・田中 圀